

誇り高く、理念に
新時代へチャレンジ

復帰50年 世界へ響け！

命ぬちどう宝たから(人間尊重)の経営



中同協総会HP



中同協総会FB

中小企業家同友会全国協議会 第54回 定時総会 in 沖縄

2022. 7/7 **木**・8 **金**

13:30 開会

12:00 閉会

会費：13,000円(宿泊費別) ※懇親会なし

【メイン会場】 沖縄コンベンションセンター

〒901-2224 宜野湾市真志喜4-3-1

【分科会会場】 ラグナガーデンホテル

沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん

暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

ロワジュールホテル那覇

※全国的なコロナ感染拡大のため、懇親パーティーは中止とします。それ以外については予定通り、リアルにて開催いたします。

そのため会費につきましては、22,000円から13,000円に変更いたしました。

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため課税仕入れにはしないようにお願いします。

※オンライン開催に変更になった場合は、9,000円となります。

主催／中小企業家同友会全国協議会 〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16 市ヶ谷 KT ビル 3F TEL 03-5215-0877 FAX 03-5215-0878

設営／沖縄県中小企業家同友会 〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター 603号 TEL 098-859-6205 FAX 098-859-6208

実行委員長ごあいさつ



中同協第 54 回定時総会実行委員長
真栄田 一郎 氏
マエダ電気工事 (株) 代表取締役 (沖縄同友会 代表理事)

中同協第 54 回定時総会を沖縄で開催いたします。今年は沖縄の本土復帰 50 年と沖縄同友会創立 35 周年という節目であり、混迷する情勢から新たな時代にチャレンジする重要な年に中同協総会を設営・開催することの責任を感じています。オミクロン株の感染拡大やロシアの軍事侵攻、地球温暖化など、世界を取り巻く情勢は決して明るくはありません。しかし、同友会運動の到達点を共有し、誇りと確信を深め、新たな時代に対応できる強靱な企業—21 世紀型企業づくりへの契機となる全国総会にしていきたいです。

沖縄からは平和をめぐる問題を提起し、歴史・文化と重ね、「恒久平和」を世界に発信し、「中小企業は平和な社会でこそ繁栄できる」ことを改めて確認することを開催の意義の一つにしています。

全国の多くの皆様のお越しをお待ちしております。

開催要項

- 日 時 2022年 7月7日(木) 13:30開会
7月8日(金) 12:00開会
- メイン会場 沖縄コンベンションセンター
〒901-2224 宜野湾市真志喜4-3-1
- 分 科 会 ラグナガーデンホテル
〒901-2224 宜野湾市真志喜4-1-1
沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん
〒901-2224 宜野湾市真志喜3-28-1
暮らしの発酵ライフスタイルリゾート
〒901-2311 中頭郡北中城村喜舎場1478
ロワジールホテル那覇
〒900-0036 那覇市西3-2-1
- 会 費 13,000円(宿泊費別)※懇親会なし
※オンライン開催に変更になった場合は、9,000円となります。
- 参加申込 ご所属の同友会事務局へお申込み下さい。
- 申込締切 6月23日(木) ※6/24(金)以降のキャンセルは、全額請求いたします。



〈空港からの交通案内〉

- 那覇バスターミナル経由沖縄コンベンションセンター前バス停まで約50〜70分(580円)
- 「空港リムジンバス」- ラグナガーデンホテルまで約55分(610円)
- ※ 沖縄コンベンションセンター前には止まりません。ホテルからセンターまで徒歩 約10分
- レンタカーご利用の場合空港から約40分(距離約14km)
- 但し、駐車場は台数が少ないため、宜野湾港マリーナの有料駐車場もご利用ください。
- 平日は、地域により朝夕のバスレーン規制がございます。
- ※ 料金や所要時間は状況により異なることがあります。

スケジュール

1日目 7月7日(木)	【1日目・全体会(劇場棟)、分科会(会議棟・他)】		
	メイン会場	ロワジール	
	12:30	12:30	受付開始
	13:30	13:30	全体会開会(議案提案)
	14:30(30分)	14:30(15分)	休けい・移動<見学のみバス移動>
	15:00	14:45	分科会開始(3時間30分)
	18:30(30分)	18:15(40分)	休けい・移動 1日目終了
〈受付と1日全体会〉			
・受付はメイン会場とロワジール那覇の2カ所に設けます。			
・見学分科会は、メイン会場で受付し全体会終了後にバスにて移動します。			
・ロワジールホテルは、サテライト会場を設けます。			

2日目 7月8日(金)	【2日目・メイン会場劇場棟】	
	9:00	全体会開始
		議案採択
	10:00	特別報告(30分)
	10:30	特別講演(70分)
	12:00	閉会〜オプションルツアー〜



イメージキャラクター
泡盛マン

※全国的なコロナ感染拡大のため、懇親パーティーは中止とします。それ以外については予定通り、リアルにて開催いたします。
そのため会費につきましては、22,000円から13,000円に変更いたしました。

※会場の関係などで第2希望の分科会になる場合もございますので、ご承知おきください。

※本登録内容は行事運営のために中同協の管理のもと参加者名簿に活用し、それ以外に使用する事はありません。

※本行事の様子を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上での公開させていただくことがあります。

参加者の皆さんの写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。

申込締切:6月23日(木)

中小企業家同友会全国協議会第54回定時総会 参加申込書

ふりがな	会社名		
名前	役職		
分科会 第1希望	分科会 第2希望	オプション	
分科会	分科会	☐ Aコース ☐ Bコース ☐ Cコース ☐ 不参加	

2日目の〈特別講演〉10:30～



ポストコロナと中小企業の果たす役割 新たな地域経済社会への展望

講師：京都橘大学教授 京都大学名誉教授

おかだ ともひろ
岡田 知弘 氏

1954年富山県生まれ。岐阜経済大学講師を経て2019年3月まで京都大学大学院経済学研究科教授。専攻は地域経済学、近現代日本経済史。主な著書に『コロナと地域経済』（編著）、「瀬戸際の地方自治」『世界』、『地域づくりの経済学入門 増補改訂版：地域内再投資力論』など多数。

政府は2010年に中小企業憲章を閣議決定し、2019年には7月20日を「中小企業の日」、7月を「中小企業魅力発信月間」と定めました。中小企業憲章には中小企業は「経済を牽引する力」であり「社会の主役」と謳われています。一方、日本の中小企業数は減少を続けるなど、経営環境は厳しさを増しています。日本の経済・社会がさまざまな課題に直面する中、改めて中小企業の役割・意義について理解を深め、新たな地域経済社会への展望を考えます。

2日目の〈特別報告〉10:00～



平和でなければ中小企業の繁栄はありえない ～琉球の歴史と先人たちの生き方から学ぶうちな～の肝心(ちむぐくる)～

報告者：ていーだ観光(株)取締役・スーパーバスガイド

さきはら まゆみ
崎原 真弓 氏

2013年7月、NHK『プロフェッショナル～仕事の流儀』への出演を契機として、活動の領域はバスガイドのみならず社会貢献活動や講演活動へと広がりをみせ、現在では年間50件を超える講演を沖縄県内外にて行っている。

2017年11月、沖縄県糸満市に崎原氏自身が立ち上げた観光バス会社『ていーだ観光』には、その想いに共鳴した多彩な経歴を持つバスガイド8名が所属し共に活動している。

沖縄県久米島出身

その型破りなガイディングスタイルから「沖縄のスーパーバスガイド」と称される。激動の歴史を生き抜いた琉球の先人達が大切に語り継いできた真心「肝心(ちむぐくる)」。それをテーマに構成された車内での案内は、単なる観光案内に留まることなく、独り語りや唄三線、琉球舞踊、琉球空手の実演を交えた独自の演出により「沖縄の真髄」を観光客の心に深く刻み込む。

開催意義について【中同協】

①新たな時代を展望する

大きく変化・転換しつつある社会・経済の動きをとらえ、新たな時代を展望する総会とします。

②運動の到達点を確認し誇りと確信を深める

激変の中、全国で進められてきた運動の到達点を共有し、誇りと確信を深めて今後の運動に取り組んでいく契機とします。

③中小企業の果たす役割を確認する

持続可能な地域づくりに果たす中小企業の役割の重要性を改めて確認し、強靱な企業づくりを自社や会内でさらに推進する機会とします。

開催意義について【沖縄】

①「人を生かす経営」の総合実践から同友会型企業づくりの学びを深め、アフター「コロナ」の新しい時代に対応できる強靱な企業づくりをめざします。

②創立35周年を迎える沖縄同友会が、全会員一丸となってさらなる発展へ挑戦する契機とします。

③地域からあてにされる団体として、第7次中期ビジョンで掲げた1,500名の基盤を確立するため、同友会の魅力を広げ会勢のV字回復を図ります。

④全国の経営者と学び、本音で語り合い、同友会理念の体現者たる真のリーダーの育成に繋がります。

⑤本土復帰50年の節目に沖縄から平和をめぐる問題を提起し、沖縄の歴史・文化と重ね、「恒久平和」を世界に発信します。

オプションツアー（主催：沖縄同友会）

Aコース 琉球王国の歴史に学ぶ日帰り首里城ツアー

●定員 20名(最少催行人数:10名) タクシー利用
●旅行代金 7,000円(昼食、タクシー、入場料、ガイド代)

かつて独立国「琉球」として独自の歴史を歩んできた「沖縄」。その王国の政治・外交・文化の中心として栄華を誇ったのが首里城です。沖縄の歴史・文化を象徴する首里城を琉球歴史文化コンサルティングの古塚達朗代表と那覇まちなちへのガイドがご案内します。

●日程
12:30 沖縄コンベンションセンター出発
13:00 昼食(会員:宮良そば)
14:30 首里城散策(専門ガイドがつきます)
17:00 散策終了
17:30 国際通り着(予定)
18:00 那覇空港着(予定)



Bコース 沖縄×アメリカン! ディープなコザを探訪

●定員 20名(最少催行人数:6名) タクシー利用
●旅行代金 6,000円(昼食、タクシー、ガイド代)

魅力に溢れた沖縄市コザをもっとディープに楽しみませんか?地元をよく知るガイドと一緒に、商店街や穴場スポットを歩くことで、沖縄市・コザをより一層楽しむことができます!今回は、琉球放送のテレビ番組「コザの裏側」の司会を務めるローカルタレントの宮島真一氏含むガイドの皆さんにご案内いただきます。

●日程
12:30 沖縄コンベンションセンター出発
13:10 昼食
14:00 コザ散策(専門ガイドがつきます)
15:30 散策終了
16:30 国際通り着(予定)
17:00 那覇空港着(予定)



Cコース 沖縄のビーチパーティー体験

●定員 50名
●参加費 4,500円(バーベキュー代)

沖縄県民の夏の定番「ビーチパーティ」!!青い海と広い空の解放感満載の雰囲気の中、バーベキューとおいしいお酒を飲み、懇親を行います。設営の沖縄会員の打ち上げ会も兼ねて行いますので、盛り上がること間違いなし!
※涼しい服でご参加し、タオルなどもご持参ください。
※雨天決行、台風・荒天時は中止

●日程
トロピカルビーチへ移動します(沖縄コンベンションセンター裏)
13:00 スタート
～楽しめる企画、検討中!～
16:00 中締め
18:00 解散



物産展(メイン会場) 1日目:展示棟 / 懇親会 2日目:劇場棟 / 全体会

※今回、「交流のひろば」はございません。
会員企業店舗紹介のGoogleマップを作成します。



黒瀬 直宏 氏
特定非営利活動法人
アジア中小企業協力機構
理事長

黒瀬 直宏 氏

情勢への対策に奇策はない！ 今こそ独立中小企業への革新を

1990年代以降、日本経済の長期停滞への突入と産業体制の構造変化により市場縮小が進んでいるところに、コロナ大不況は、内外需を同時に大幅縮小させました。今必要なのは自分の仕事は自分で創り出す「独立中小企業」への脱皮です。

さらに中小企業は市場経済の一員として、経済格差・自然破壊拡大に対処する社会的責任も問われています。一過性の危機解決に留まらず長期的課題解決に向け、求められる経営のあり方を明らかにします。

プロフィール

1944年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒、東京都立大学大学院社会科学部研究科修士課程修了。元嘉悦大学ビジネス創造学部教授、元専修大学商学部教授。特定非営利活動法人アジア中小企業協力機構理事長(2017年6月8日)。博士(経済学)。
中小企業論(理論・歴史)、中小企業政策論、アジア中小企業論。中小企業の取材に基づく理論構築を得意としている。
《著書》
『複眼的中小企業論～中小企業は発展性と問題性の統一物～第2版』(単著、同友館2018年)ほか多数



(株)ヒロハマ
取締役会長
中同協会長

広浜 泰久 氏

「ビジネスと人権」と「人を生かす経営」 求められる中小企業の対応

国連「ビジネスと人権に関する指導原則」(2011年採択)などを受け、企業に人権尊重を求める動きが世界的に活発化しています。欧米では企業の人権対応の法制化も進んでおり、日本でも政府が行動計画を策定し具体化しつつあります。「ビジネスと人権」を「人を生かす経営」の視点からとらえ、今後の企業実践や同友会運動にどのように生かすのかを考えます。(広浜氏は政府の「ビジネスと人権に関する行動計画推進円卓会議」メンバー)

(株)ヒロハマ

創業:1947年/設立:1951年/正社員数:96名/パート・アルバイト等:32名/資本金:6,250万円/年商:39億3千万円
事業内容/業務用缶のキャップ等部品製造
HP/https://www.cap-hirohama.com/



(株)オーザック
取締役会長
広島同友会相談役

岡崎 隆 氏

会社の成長は社員の自主性と定着が不可欠 経営者の役割は、社員を「その気」にさせること

パブル崩壊時に5.5億の借入金を抱えた同社。1日の利息が9万円という危機的状況乗り越えることができたのは、経営者と社員が本気になって改善を積み重ねた結果でした。中期ビジョンと経営指針を社員と共に練り上げ、相互の強い信頼関係を築き、社員が主役の会社づくりを進めてきました。そして、社員自らが輝く、人が生きる経営という社風が根付いてきました。岡崎氏の経営者としての歩みから「労使見解」を深めます。

(株)オーザック

創業:1945年/設立:1969年/正社員数:43名/パート・アルバイト等:1名/資本金:3,000万円/年商:8億4,500万円(2021年度)
事業内容/ワイヤロープ用ロープ端末金具、調整及び連結金具、産業機械用吊り具等の設計及び製造販売
HP/http://www.auzac.jp



よし たけ きたう けい
吉武 恭介 氏
ワコウクリーンサービス(株)
代表取締役
中同協経営労働副委員長
徳島同友会副代表理事



や ま だ し げ る
山田 茂 氏
(株)山田製作所
代表取締役会長
中同協経営労働副委員長
大阪同友会代表理事



か わ な ひ で あ き
川中 英章 氏
(株)EVENTOS
代表取締役
中同協共同求人委員長
広島同友会理事

逆境を乗り越える強じんな企業への変革を 経営指針の実践と新・企業変革支援プログラム

企業の現状と経営課題を洗い出し、課題解決に向けた取り組みを促す「企業変革支援プログラム」が発表されて10年余。今年度は各専門委員会の協力を得て、その改訂版が、発表されます。今こそ強じんな経営体質で人を生かす経営へ、経営指針の実践をすすめていく必要があります。同友会として企業として「新・企業変革支援プログラム」の活用意義を理解するとともに、新たな活用へ向けた提起を受け、今後の対応を考えます。



さ と う かつ ろ う
佐藤 勝郎 氏
(有)あびす
代表取締役
宮城同友会支部理事



い と う と し あ き
伊藤 俊明 氏
ビーネットホールディングス(株)
代表取締役
宮城同友会県理事

事業領域の見直し 本業の可能性を深める

宮城同友会は全県活動方針に「本業の可能性を深めること」掲げました。伊藤氏はリサイクル施設・産業廃棄物処理施設のコンサルタント業からスタート。その後、自ら産業廃棄物処分に参入し、現在では伐採工事、堆肥化事業まで事業領域を拡大。佐藤氏は居酒屋からスタートし多店舗を展開。その後、食肉卸、食肉加工、販売へ参入し、現在では食品製造業まで事業領域を拡大。事業の再定義から事業領域を見直し、本業の可能性を深めます。

(有)あびす

創業:1997年/設立:2005年/正社員数:14名/パート・アルバイト等:27名/資本金:300万円/年商:4億3000万円
事業内容/グループ内事業:飲食事業、居酒屋、和食ダイニング、食堂、レストラン、食肉卸、食肉加工、販売、米・野菜・他食糧品販売
HP/http://www.ebisu-gp.co.jp/

ビーネットホールディングス(株)

創業:1995年/設立:2017年/正社員数:30名/資本金:3,000万円/年商:9億2661万円
事業内容/グループ内事業:純粋持ち株会社、コンサルティング、産業廃棄物処理業、伐採工事請負、産業廃棄物処理業(伐採木のリサイクル)、木質バイオマス供給事業、木材販売、木質バイオマスチップ製造・販売、堆肥の製造販売
HP/http://b-net.holdings/



(株)琉球補聴器
代表取締役
沖縄同友会理事
共同求人委員長

森山 賢 氏

社員と共に創り上げた「日本でいちばん大切にしたい会社」 採用と教育から始める人を生かす経営

父親の会社へ中途入社した森山氏。後継者候補であったが、問題を父親や社員、取引先のせいにして会社の雰囲気は悪化。被害者意識と低い自己肯定感でどんどん負のスパイラルに陥ります。会社を引き継いで15年。「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」を受賞するまでになった同社。同友会で真の採用と教育を学び、共に育ち合える関係性創りに取り組んだ裏には一体何があったのか。森山氏が赤裸々に告白します。

(株)琉球補聴器

創業:1987年11月12日/設立:1987年11月12日/正社員数:39名/パート・アルバイト等:2名/資本金:1,600万円/年商:6億円
事業内容/聞こえの相談、補聴器販売・メンテナンス・修理、耳鼻咽喉科用医療機器販売
HP/http://www.ryukyu-hochoki.com/

誇り高き「理念」に集い新しい時代へチャレンジ!

環境経営×IT活用×障害者雇用

7
分科会

沖縄



(有)大宮工機
代表取締役
沖縄同友会副代表理事

宮城
みつひろ
氏

同友会の学びで持続可能(SDGs)な会社づくり 環境経営×IT活用×障害者雇用の実践

同友会で様々な出会いと学び・実践を繰り返し、兄(前社長)と二人三脚で、社員の理解と協力を得ながら環境経営やIT化に取り組みました。変化することへの抵抗もある中、障がい者雇用や施設外就労を受け入れたことで業務の整理が進み、働き方改革を実現し、労働環境および待遇改善に繋がりました。社員が自ら考え、個人とチームの力を存分に発揮できる仕組みの構築に挑戦し、地域に根差した持続可能な会社づくりの実践に学びます。

(有)大宮工機

創業:1980年5月1日/設立:1987年5月1日/正社員数:33名/パート・アルバイト等:1名/資本金:1500万円/年商:39,000万円(2020年)
事業内容/建設・土木機械リース(濁水処理設備・その他)
HP/https://www.ohmiyakouki.com/

事業継承

8
分科会

栃木



(株)シンデン
代表取締役
栃木同友会代表理事

八木
ひとし
氏

私たちは「中継者」 労使見解を基にした経営システムの構築

事業承継者は、引き継ぎ時点から、次の承継者を考えながら、経営を行っていかねばなりません。八木氏が社長就任時、団塊の世代がこぞって退職していくという大きな課題があり、「社員の年齢」を意識して経営を行ってきました。常に経営を維持発展させることが経営者の責任。同友会で学び、次世代に繋ぐという観点から「よい会社づくり」に励んできた氏が、自社の企業変革の取り組みを語ります。

(株)シンデン

創業:1967年/設立:1972年/正社員数:39名/資本金:4,440万円/年商:7億5,000万円
事業内容/発泡・強化プラスチック製品加工業
HP/www.7311.jp

危機への対応

9
分科会

北海道



サンマルコ食品(株)
代表取締役社長
北海道同友会代表理事

藤井
こういち
氏

危機を乗り切る強じんな企業への道 こだわりを強みに、激変を迎え撃つ全社一丸経営

15年前、食品偽装事件に巻き込まれて、全国のスーパーの棚から同社の商品が消えました。問題解決までには40日間を要し、かかった費用は1億円。頭には倒産の2文字がよぎりました。その後も地震や気候変動による原料危機など、企業の存続に関わる事態に度々見舞われ、今またコロナ禍で原材料・資材・燃料の高騰が続いています。ある日突然襲ってくる危機に備えてどのような企業づくりを進めていくか、一緒に論じ合ひましょう。

サンマルコ食品(株)

創業:1979年/設立:1979年/正社員数:200名/パート・アルバイト等:260名/資本金:4,000万円/年商:85億円
事業内容/コロッケ・春巻き・グラタンを主体とした冷凍食品の製造販売
HP/http://www.sanmaruko.co.jp/

地域の人材育成

10
分科会

香川



(株)マール
代表取締役
社員教育委員会 副委員長

梶浦
さえこ
氏

共育型インターンシップで会社・社員 #地域輝く 小さな一流企業づくりでまあるく

共育型インターンシップは「学生:企業や大人から働く意味学ぶ」「企業:人を生かす経営の実践を確認する」という目的のもと、学校と同友会が連携して活動を始めました。梶浦氏は共育型インターンシップに参加することで、社員と会社の目的と夢の実現の共有化を行うことができ、学生は「自分のやりたいことができる会社をつくりたい」という考えの変化・成長に繋がりました。小さな一流企業が地域へ希望の光を灯す運動の報告です。

(株)マール

創業:2015年4月10日/設立:2015年4月10日/正社員数:2名/パート・アルバイト等:7名/資本金:300万円/年商:2,000万円
事業内容/リラクゼーションサービス事業、リラクゼーションサロン・教室の運営、美容・健康関連商品の販売等
HP/https://relax-maar.jp/

憲章・条例

11
分科会

熊本



(有)魚光
代表取締役
熊本同友会副代表理事

熊井
りつのぶ
氏

『憲章条例』を愉しむ～会員に宛てた400通の手紙～ 「非常識」な手段で「常識」を作る学習戦略

憲章・条例は「難しい」「関係なさそう」と言われますが本当でしょうか?そんな常識を疑うところから始まった今期の憲章条例推進運動。本部長を務める報告者の家系は明治時代から続く魚屋。その家訓「人がやらない・やれないことをやれ」というDNAが「憲章条例日報」の配信につながりました。2003年からつづく熊本同友会の憲章条例推進運動の歴史と理念を踏襲しつつ、会全体を巻き込む実践運動への記録と未来を報告します。

(有)魚光

創業:1977年/設立:1987年/正社員数:10名/パート・アルバイト等:7名/資本金:300万円/年商:1億5000万円
事業内容/鮮魚・寿司・惣菜製造小売業

12
分科会

沖縄・政策

あかみね つよし
赤嶺 剛氏
(有)スタプランニング
代表取締役
沖縄同友会副代表理事いなみね ゆうこう
稲嶺 有晃氏
(株)サン・エージェンシー
代表取締役社長
沖縄同友会相談役いしかわ きょうみ
石川 京美氏
(株)いしかわ文明堂
代表取締役社長
女性経営者部会・第9回政策委員ほしざき こうじ
星崎 浩二氏
オフィス星崎
代表
沖縄同友会政策委員長政策活動から、中小企業の発展に繋げて
地域を活性化する

三つの目的③よい経営環境にあたる政策活動ですが、多くの会員企業が政策活動の必要性が分からないという意見も聴こえてきます。今回の報告では、なぜ政策活動に取組むのか、なぜ政策活動が企業や地域の発展に結びつくのかをこれまでの政策活動の事例紹介やパネリストの報告から考えます。

13
分科会

千葉

やまもと かつみ
山本 克己氏
(株)ストラクス
代表取締役
千葉同友会会長あかうみ あきよし
赤海 章義氏
(株)あかうみ
代表取締役社長
千葉同友会代表理事やまむら じゅんいち
山村 潤一氏
(有)マリエンタープロジェクト
代表取締役
千葉同友会副代表理事・
会員増強部会長うしかわ ひろし
宇和川 浩示氏
(株)ブランセス
代表取締役
千葉同友会副代表理事・
新支部設立部会長同友会に確信を持ち、コロナ禍でも粘り強く増強を
中期ビジョンを柱に質と量を追求する

千葉同友会は、これまで1500名前後の会勢で推移してきましたが、昨年7月には1400名を下回るような危機的状況に陥りました。しかし現状分析と展望を共有し活動を進めてきた結果、過去最高の1600名を達成しました。また、この2年間で3つの新支部を立ち上げるなど、各組織が中期ビジョン(5カ年計画)を柱に活動を展開し増勢に転じています。このコロナ禍での奮闘を報告します。

14
分科会

中同協・青年部

いしかわ ともき
石川 朋之氏
(株)HONKI/Honki
Middle East LLC (UAE)
代表取締役
中同協青年部連絡会代表
滋賀同友会副代表理事うめだ よしお
梅田 益生氏
(有)ウメイチ
代表取締役
中同協青年部連絡会・
副代表(次期代表)
岐阜同友会副代表理事せ と なおと
瀬戸 直人氏
(有)ウェリントン
代表取締役
中同協青年部連絡会・
副代表
京都同友会理事

われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう!

青年部活動と企業経営は不離一体

青年部連絡会2020VISION最終年のその年、コロナ感染症が拡大し、経済社会が停滞しました。「青全交の歩みはとめない」と2020青全交をオンライン開催し、2030VISIONを発表。「風が吹かなくても風を揚げよう」と青年部活動と企業経営を不離一体として次代にむけて果敢に挑戦することを確認しました。「われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう!」と切磋琢磨する青年経営者の実践を学びあいます。

15
分科会

石川

はしもと まさこ
橋本 昌子氏
(株)スパーテル
代表取締役
石川同友会代表理事

すべての人により良い未来を

～多様性はこれからの可能性～

経営経験もお金もない、しかも女性。そんな橋本氏が薬局を開業して14年。自分らしく最期まで暮らせる地域を実現するために、地域課題に目を向けて事業を展開してきました。性別・年齢・国籍・価値観、人は違って当然。その根底にあるのは「人を生かす経営」です。ひとつひとつの実践が小さな薬局から社員220名のグループ企業を育ててきました。2021年石川同友会代表理事に就任し、さらなる未来の可能性が見えてきました。

(株)スパーテル

創業:2007年10月/設立:2007年10月
/正社員数:125名/パート・アルバイト
等:99名/資本金:1,000万円
/年商:22億円(グループ)
事業内容/薬局の経営/介護施設の経
営/福祉事業の運営
HP/https://spatel.co.jp/

16
分科会

静岡

いのうえ ひとし
井上 斉氏
ワシロック工業(株)
代表取締役
静岡同友会代表理事あきやま ひろき
秋山 啓希氏
静岡県中小企業家同友会
事務局
局長
理事「入ってよかった!続けてよかった!」と
実感できる事務局づくり

同友会運動を通して実感した誇りと生きがい

「代表理事と事務局は膝詰めで話そう」2017年就任1年目の井上代表理事は、当時32才で就任した事務局長にこの言葉を贈りました。それから5年が過ぎ、中同協では事務局プロジェクトが活動。全国的に代表役員と事務局の関係構築が重要視されてきました。他県に比べ経験年数が浅い静岡同友会の事務局づくりから、代表役員の姿勢と役割、代表役員と事務局の関係、事務局自身の姿勢など語りあい学びあえる場になっています。

ワシロック工業(株)

創業:1961年/設立:1961年/正社員
数:15名/資本金:4,500万円/年商:3
億円
事業内容/コンクリート2次製品製造業
(各種建築用コンクリートブロック、レンガ
他)、土木・建築工事、不動産取引等
HP/https://www.washilock.co.jp/

静岡県中小企業家同友会

創業:1974年/設立:1974年/正社員
数:5名/パート・アルバイト等:1名
HP/https://www.szdoyu.gr.jp

17
分科会

沖縄観光

にしきぶち たい
西瀬 泰氏
(株)E Mウェルネスリゾート
代表取締役社長
ビジネス連携部会「ゆいまる」幹事
(6次産業化副委員長)

沖縄ブランドを高める新しい観光

EM技術から始まったウェルネスの追求

微生物の発酵技術(EM技術)を日常のあらゆる面で活用することで、ウェルネス(心身ともに健康で幸福という概念)なライフスタイルが実現できることをホテルサービスを通して発信することを創業時から追求しています。コロナで旅館経営が厳しい期間中も、社員教育や同友会会員との連携による商品開発をするなど様々な取り組みをしています。地域とも連携しながら新しい観光のあり方に模索する取り組みについて報告します。

※見学分科会の申込締切日は5月31日(火)です。希望者多数の場合、人数調整させていただきます。

(株)E Mウェルネスリゾート

創業:2013年3月(ホテル開業は2005年9
月)/正社員数:215名/パート・アルバ
イト等:90名/資本金:9,800万円
/年商:11億円
事業内容/ホテル業(EMウェルネス 暮らしの発酵ライフスタイルリゾート)
HP/https://kurashinohakko.jp/

定員:40名